



静岡銀

しずおかぎん

行内ドレスコード改定

静岡銀行は、男女ともスーツ着用を基本とする行内のドレスコードを改定し、ビジネスシーンに応じた行員の自由な服装選択を認める。全行を挙げて推進する働き方改革「ワークスタイル・イノベーション」の一環。お堅い」とされがちな銀行のイメージが変わりそう。8月1日から。

新たに策定するガイドラインには、ラフな柄Tシャツ

服装選択、自律的に スーツじゃなくてもOK

ヤツやダメージジーンズなど最低限の禁止事項を明示するにとどめる。取引先との重要面談はスーツとする一方、出張や店内業務であればジャケットとストラックス、研修やセミナー参加はカットソー、チノパンといった服装が可能になる。

規定が厳しい。他行では本部で服装を自由化している例もあるが、静岡銀行は「営業店まで含めて実施するのは、国内で初めてではないか」としている。

八木稔取締役専務執行役員は、チャレンジ精神が薄れているといった現状の行内の問題点を指摘。顧客や地域を意識して物事を自律的に考える風土をつくり、「疑問や意見があれば立場にかかわらず声を上げられる組織を目指したい」と話す。

(経済部・関本豪)

フレックスタイムは全店拡大

① ドレスコード改定はいつからですか。

[]

② これからは、どのような服装が可能になりますか。書いてみましょう。絵で表現してもいいです。

◆取引先との重要面談

[]

◆出張・店内業務

[]

◆研修・セミナー参加

[]

③ 行内ドレスコードを改定し、行員が自由に服装を選択できるようになることの利点は何だと思えますか。あなたの意見を書いてみましょう。

[]

2019年7月20日朝刊

年 組 名前